

災害対応能力強化にむけ、排水ポンプを増強します！

～ 帯広開発建設初、排水ポンプパッケージの配備 ～

近年、融雪出水において、樋門に大量の氷塊が挟まりゲート操作不能が発生していることや、多発する集中豪雨への更なる備えとして、帯広開発建設部では初めて「排水ポンプパッケージ」を配備し、災害対応能力を更に強化していきます。

近年、春先に発生する融雪出水においては、河道内を大量の氷塊が流下し、樋門に挟まることでゲート操作が不能となり、内水河川の水位が上昇し、排水ポンプ車による排水作業を行う事象が生じています。このような事象が同時多発的に発生した場合、既存の排水ポンプ車のみでは対応できないおそれがあります。また、近年、多発する集中豪雨に更に備えるため、帯広開発建設部では排水ポンプの増強を図ることとしました。

今回増強する排水ポンプは、排水作業に必要な機器を1つに集約した「排水ポンプパッケージ」であり、下記のとおり配備します。排水ポンプパッケージは、既存の排水ポンプ車よりも小型で、2tトラックに搭載可能など機動性に優れており、配備により災害対応能力の更なる強化が期待されます。

記

1. 排水ポンプパッケージの配備について

- ・ 配備日時 令和4年2月25日（金）14時30分
- ・ 配備場所 茂岩水防拠点（中川郡豊頃町茂岩栄町）
- ・ パッケージの仕様等の詳細は別紙1を、配備箇所の詳細図は別紙2をご参照ください。

2. 取材について

- ・ 配備当日に取材を希望される報道関係者の方は、2月24日（木）17時までに池田河川事務所計画課 市川（電話015-572-2661（内線205））あて登録をお願いします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

池田河川事務所 副所長 松本 政徳 電話015-572-2661（内線202）

池田河川事務所 計画課長 市川 嘉輝 電話015-572-2661（内線205）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



【別紙1】排水ポンプパッケージ仕様等

- ・ 5. 0m³/minの水を排水可能なポンプが2台搭載。
- ・ ポンプ単体の重量は21kg以下と人力設置が可能で迅速な対応が可能。
- ・ 内水の排水作業に必要な機器を一つのパッケージに収納。

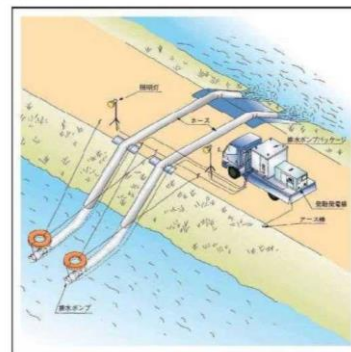
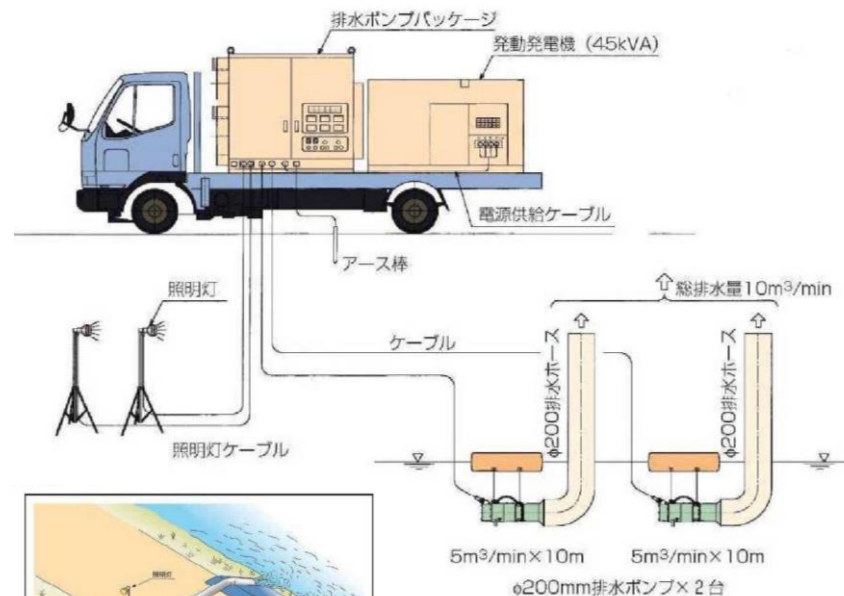


パッケージ写真※



ポンプ写真※

※今回配備するポンプと同等品の写真



パッケージ概念図及び利用イメージ

【パッケージ仕様】	【ポンプ仕様】
・ 寸法 W1600×H1600×D1400以下	・ 型式 横軸水中モータポンプ
・ 質量 650kg以下	・ 質量 21kg以下
・ 電源電圧 AC220V 60Hz 3相3線	・ 基数 2台
・ 搭載機器 排水ポンプ 2台	・ 排水量 5.0m ³ /min
20m排水ホース 4本	・ 総排水量 10.0m ³ /min
クランプ継手 4個	・ 揚程 10m
固形フロート 2個	・ 出力 12KW以下
操作制御盤 1面	・ 口径 φ200mm
発電機接続ケーブル	※質量はストレーナ除く
・ 運搬車両 2.0t車輛以上 (別途)	・ 発電機 45KVA以上 (別途)

パッケージ仕様及びポンプ仕様 ※赤枠内が今回購入範囲

【別紙2】排水ポンプパッケージ配備箇所

- ・配備日時 令和4年2月25日(金) 14時30分
- ・配備場所 茂岩水防拠点(中川郡豊頃町茂岩栄町)



【参考】十勝川下流域の氷塊流下及び内水発生状況

- ・ 近年、3月の融雪出水において大量の氷塊の流下による河川の水位上昇及び樋門の閉扉阻害により排水ポンプ車による内水河川の排水作業を実施
- ・ 十勝川下流部の河床勾配は1/2, 750~1/5, 000程度の緩勾配
- ・ 十勝川の下流域は上流域よりも洪水継続時間が長い
- ・ 十勝川下流部の低平地は内水被害が発生しやすい地域



氷塊の流下及び排水内水河川排水状況

十勝川下流部の主な内水被害状況